

## 新たな価値創造の実現に向けて

### NTTリミテッド・ジャパン 株式会社

ICTインフラサービス部

データセンターサービス部門 主査

今枝 佑介 様



#### ExTorch (エクストーチ) プログラムに 不可欠なTHKのロボット技術

NTT Comグループでは自社が保有する豊富な技術、インフラ、サービス等を活用し「社外との共創により想像を超えて灯火が拡がり、創造を超えた世界を作っていく」ExTorchプログラムを展開し、従来にはない新たな価値の創造を目指しています。5つのテーマのうち、私が担当する「完全無人化された次世代データセンターの創出」では、当初ロボットの導入は検討していませんでした。しかしTHKさんを訪問し提案されたロボット技術を体験することで、センターの無人化には必要不可欠な要素ではないかと考えました。とにかく操作が簡単でマニュアルや説明書を見る必要がなく、操作桿を動かすとロボットが同じ動きを再現してくれます。これであれば機械に慣れていない素人でも扱うことができ、また、ハードウェアプラットフォームのみを安価で購入できます。そのため、プログラム開発自体は当社で自由にカスタマイズできるという特性を活かし、1.データセンター運用業務の省力化、2.インフラ設備や工場等の他業種への展開、サービス化という2つの目標を設定しました。

#### 実証実験を通して

川崎市にパートナー企業様とDXを推進するための新たな事業やサービスを開発・検証するデータセンターがあり、そこでロボットによる運用無人化を検証しています。最終

目標の完全無人化に向けて、最初のステップは大手町の事務所から実験センターのロボットを遠隔操作し、動作を徹底的に確認することでした。そして現状のデータセンター構造ではロボットが作業できない箇所は、対象物の改造を試みました。例えば、1つの事例としてルーム内の扉やラックを改造し、ロボットが開閉できるように改良しています。こうした地道な作業を繰り返しロボットの操作性を向上させた結果、10月に社内・社外の方が参加した当社内のイベントで5テーマのデモを公開し、参加者投票を実施したところ、Audience賞をもらうほどの反響があり、一部では商談にまで話しが進んでいます。

#### 今後のプロジェクト推進に向けて

当社上層部へプレゼンし、ロボット導入の最終判断がなされます。承認された場合、次のステップとして実際のデータセンターでのロボット運用を開始します。その際の課題が2つあり、1つ目はハードウェア側のカスタマイズができないかということです。これまでも動作確認等の問い合わせを何度かしていますが、簡単な修正を当社で実施できればお互いの時間の有効活用につながります。2つ目は、ロボットの操作性を更に高める周辺サポートのバリエーションを増やしていただければと思います。

当プロジェクトの成功に向けては、今後も十分なバックアップをお願いします。

実証実験風景



DC内で同じ動きをする SEED-Noïd



トレーサー操縦中の筆者